

作文発表会の実施について

市川南高校では、総合的な学習の時間で「キャリアデザイン研究」を行っています。そして、キャリア教育が育成すべき「人間関係形成能力」「将来設計能力」「情報活用能力」「意志決定能力」という四つの力を伸張させるために、様々な取り組みを行っております。

7月にはその一環として、コミュニケーションの根底をなす「言語表現力」の育成のために、1学年と2学年で作文学習を行いました。1学年では自分の人間関係形成能力を顧みるために「市川南高校に入学して」、2学年では各々の将来設計能力を確認するために「卒業後の進路」というテーマを定め、総合的な学習の時間での執筆を行いました。

そして、それぞれのクラスで代表作品1点を選考し、10月1日に朗読形式による発表会を1・2学年合同で実施しました。これは自己表現能力の伸長と、学校生活や進路実現に対する高い意識を持った生徒の意見を、模範として他の生徒に示すことも目標としています。

なお、当発表会に際して、進路指導主任と1・2学年の教諭が審査委員を務め、最優秀賞と優秀賞を選考し、発表会の最後に受賞式を行いました。



2学年の最優秀賞受賞者（2年C組）



ステージに控える発表者

本校では初めての取り組みであり、2年生にとっても初めての体験となります。そのため、自分の作文を体育館のステージで朗読するという単純な発表形式ながら、代表に選ばれた生徒たちは大変に緊張し、発表会では小さな声になりがちな生徒も見受けられました。しかし、前日に実施したりハーサル終了後、全員が自主的に1時間近く残って練習していた2年生は、すべての発表者が堂々とした朗読を行い、先輩としての模範を示しました。また、この発表を見た1年生から、来年度の発表で高い将来設計能力を示す生徒が現れることが、大いに期待されます。